

**授業概要**

高齡者心理学に関する基本的な知識について講義を行う。まず、超高齡社会となった現代において、高齡者心理学を学ぶ意義を確認したうえで、感覚・知覚・記憶などの基礎的な心理機能が加齢によってどう変化するかについて講義を行う。そして、自己やパーソナリティなど社会との関わりの中で変化する側面について触れた後、高齡者の社会参加や介護などについての研究を紹介していく。

**授業計画**

第1回	老年心理学とは
第2回	老年心理学の方法論
第3回	加齢の理論
第4回	身体に加齢
第5回	高齡者の感覚・知覚
第6回	高齡者の記憶
第7回	高齡者の知能
第8回	高齡者のパーソナリティ
第9回	高齡者の対人関係
第10回	高齡者の社会参加
第11回	高齡者の心理的問題
第12回	高齡者への心理的支援
第13回	高齡者介護
第14回	死別
第15回	まとめ
第16回	テスト

**到達目標**

成人期以降の加齢によって認知的な機能や自己意識、社会的な関係などにどのような影響が生じるのかについて知識を身につける。

超高齡社会と自分の関わり方について意見が持てるようになる。

**履修上の注意**

授業中は積極的な発言が望まれる。また授業の内容に応じて、小グループでの実験、質問紙調査の体験なども適時行う予定である。

**予習・復習**

講義で扱った内容と、自分の日々の生活上の出来事との関連を考える。

**評価方法**

リアクションペーパーの内容（20%）、受講態度（10%）、テストの結果（70%）を合わせて、総合的に評価する。

**テキスト**

特に指定しない。

随時資料を配布し、参考文献はその都度紹介する。